



# 家庭での男女協働参画 ～家事は家族みんなで～

男女協働参画社会の実現のため、『第4次伊万里市男女協働参画基本計画』の基本方向の一つとして、男女がともに働きやすい環境づくりを掲げています。男女の働き方や暮らし方の意識改革を行うことで、男性と女性の両方が、家事・育児・介護などに参画し、互いに責任を分かち合うようになることは、女性があらゆる分野において活躍できる環境づくりにつながります。

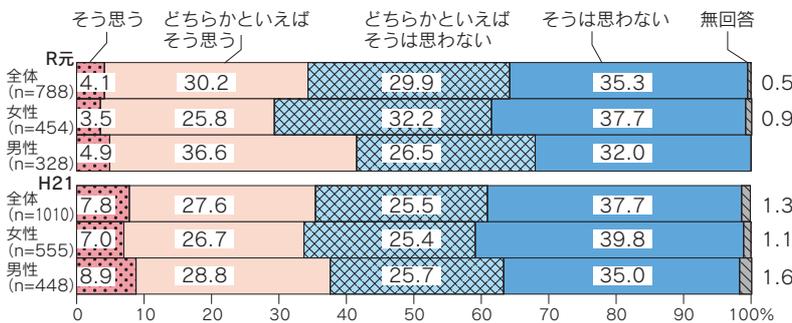
仕事と生活を両立できる暮らしやすい社会を目指して、家庭や地域での男女協働参画について考えてみましょう。



○ 問合せ 企画政策課男女協働推進係 (☎22115)

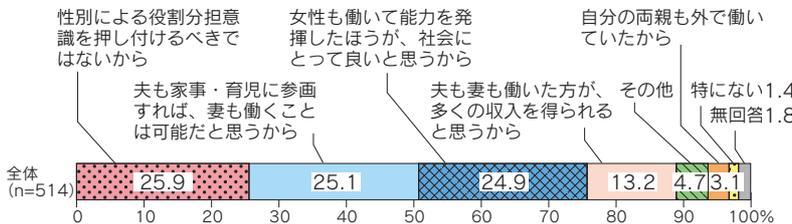
【グラフ1】

夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである（過去調査との比較）



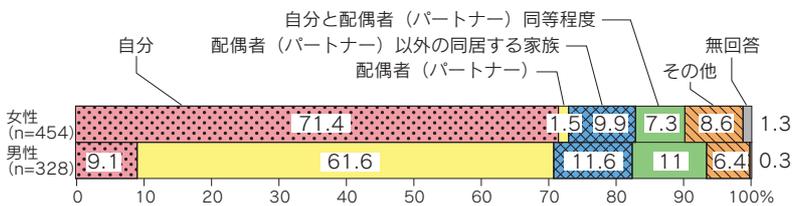
【グラフ2】

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」と思わない理由



【グラフ3】

日常の家事の担当



(令和元年男女共同参画社会づくりのための県民意識調査)

## 令和元年県男女共同参画意識調査の結果から見えること

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった性別役割分担意識の設問については、「そうは思わない」「どちらかといえばそうは思わない」と答えた人の割合は65・2%となっており、(グラフ1)。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という性別役割分担意識を押し付けるべきではないからが最も高く、次いで、「夫も家事・育児に参画すれば、妻も働くことは可能だと思うから」が高くなっていきます(グラフ2)。

令和元年の調査では、差が12・2ポイント(女性は29・3%、男性は41・5%)に広がっています(グラフ1)。「家庭の日常の家事は主にあなたが行っていきますか」の設問では、女性は「自分」、男性は「配偶者(パートナー)」が多く、女性が主に担っていることがわかります(グラフ3)。

(※) 内閣府『男女共同参画白書』による

『家事シェア』がもたらす効果

Effect of the sharing household chores

- ◆ 家族が病気になったときも、生活の基本が維持できます。
- ◆ 家族のコミュニケーションが取れます



家族の幸せが増えます



家事を『家族でやること』と考え分け合うと、一人一人の負担が軽くなり、家族への思いやりも増えます。家族みんなで家事を分け合う『家事シェア』に取り組んでみませんか。

家族みんなで『家事シェア』に取り組みませんか

家事・育児 誰がやるの？

無理なく家事を分け合う “家事シェア”

近年、共働き世帯が増えていますが、家事・育児は、女性がしている場合が多いのが現実です。家事は、家族みんなで協力し、『家事シェア』を進めましょう。

誰がどのくらい家事をしているのか、ふだんの家事の分担を確認してみましょう



※記入例 [✓ (自分)]・[パ (パートナー)]・[子]・[父]・[母] など

ご飯を作るだけじゃない 料理	掃除機をかけるだけじゃない 掃除	子どもを育てるだけじゃない 育児
<ul style="list-style-type: none"> <li>[ ] 献立を考える</li> <li>[ ] 食材の買い物</li> <li>[ ] 買ってきた物の整理</li> <li>[ ] 調味料の補充・交換</li> <li>[ ] 食べ残しの片付け</li> <li>[ ] 食器・鍋を洗う</li> <li>[ ] 生ごみの処分</li> <li>[ ] 流し台の掃除</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>[ ] ごみの分別</li> <li>[ ] 収集日にごみを出す</li> <li>[ ] 風呂掃除</li> <li>[ ] トイレ掃除</li> <li>[ ] 掃除機の紙パック交換</li> <li>[ ] 掃除機をかける</li> <li>[ ] 床を拭く</li> <li>[ ] 窓や鏡を拭く</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>[ ] 子どもの食事を手伝う</li> <li>[ ] 歯磨きの仕上げをする</li> <li>[ ] 宿題・勉強をみる</li> <li>[ ] 習い事などの送迎</li> <li>[ ] 学校行事への参加</li> <li>[ ] 子どもの病院の付き添い</li> <li>[ ] 子どもの時間管理</li> <li>[ ] 子どもの写真の整理</li> </ul> 
<p>洗濯機を回すだけじゃない 洗濯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[ ] 洗濯物の裏返しをチェック</li> <li>[ ] 洗濯物を干す</li> <li>[ ] 洗濯物を畳む</li> <li>[ ] 洗剤の補充</li> <li>[ ] アイロンがけ</li> <li>[ ] 衣類をクローゼットにしまう</li> <li>[ ] ベッド・布団のシーツ交換</li> <li>[ ] クリーニングに出す</li> </ul> 	<p>ほかにもあるある さまざまな家事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[ ] カーテン・窓の開け閉め</li> <li>[ ] ベット・植物の世話</li> <li>[ ] 電球の交換</li> <li>[ ] 町内行事への参加</li> <li>[ ] 家計の管理</li> <li>[ ] 日用品の買い物</li> <li>[ ] 郵便物の確認</li> <li>[ ] 庭木の手入れ</li> </ul> 	<p>『みんなで』が増えると 『ありがとう』が増える</p> <p>多くの場合、家事の能力には差があり、夫婦間に『教える・教えられる』という関係が生まれてしまいがちですが、だめ出しをすると「やってみよう」という前向きな気持ちが無くなります。夫婦は、上司と部下ではなく対等な関係です。パートナーが家事をするときは、優しく見守りましょう。まずは感謝の気持ちを伝え、コツを教えてください。</p> 



森園 淳司さん  
サービス業  
(35歳 二里町東八谷搦)

■ 得意な家事・育児

- ・洗濯
- ・食器洗い
- ・飛行機遊び

ママからひと言

子育てを『手伝う』のではなく、一緒にやってくれるので、とても助かっています。



江崎 文徳さん  
公務員  
(38歳 立花台三丁目)

■ 得意な家事・育児

- ・夕食後の片付け
- ・子どもと全力で遊ぶ

ママからひと言

いつもありがとう。これからも協力し合って、子育てを楽しもう。

## 伊万里のイクメンを紹介します

『イクメン力全国ランキング2020』（積水ハウス株式会社の調査）で佐賀県が1位になったのを知っていますか。今回は、市内で見つけたイクメンを紹介します。イクメンの皆さんは、『家事シェア』も得意ですよ。

What's "IKUMEN"?

『イクメン』とは、子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性。または、将来そんな人生を送ろうと考えている男性。



中村 克朗さん  
会社員  
(42歳 二里町東八谷搦)

■ 得意な家事・育児

- ・料理
- ・片付け
- ・寝かせつけ

ママからひと言

私と子どもに優しいパパ。これからもそのままのパパでいてください。



中村 達彦さん  
会社員  
(28歳 二里町大里)

■ 得意な家事・育児

- ・皿洗い
- ・おむつ替え

ママからひと言

いつも家事・育児を頑張ってくれてありがとう。とても助かっています。



岡本 聡士さん  
美容師  
(41歳 木須東)

■ 得意な家事・育児

- ・風呂掃除
- ・料理
- ・童心に戻り一緒に遊ぶ

ママからひと言

いつも元気で明るいパパ。健康でいてくれることが一番大切なので、仕事は無理しすぎないでね。



中島 克さん  
農業  
(40歳 大川町長野)

■ 得意な家事・育児

- ・保育園や習い事の送迎

ママからひと言

これからは子どもたちと一緒に楽しく過ごせるよう、健康第一で頑張っていきましょう。

市男女協働参画出前講座を利用しませんか

市男女共働参画懇話会『いまりプラザ』では、さまざまな団体の会合などに出向き、出前講座を行っています。男女協働参画について、皆さんに分かりやすく、身近に感じてもらうため、紙芝居や朗読劇など、団体や人数に応じて、内容を工夫しています。  
地域や職場で、男女協働参画についての理解を深めてみませんか。

● 問合せ・申込先

企画政策課男女協働推進係

TEL 23 2115

FAX 27 213

※メールアドレス

kikaku@city.imari.lg.jp



出前講座のテーマの例

- 男女協働参画について全般なこと
- 男女協働参画の視点から考える防災
- ワーク・ライフ・バランスに関すること
- DV（ドメスティック・バイレンス）に関すること
- ハラスメント防止に関すること

市男女協働参画懇話会『いまりプラザ』とは



男女協働参画社会の実現を目指し、出前講座や研修会などの啓発事業や市の男女協働参画関連事業が計画通りに進んでいるかのチェックなどを行っています。

現在 13 期目で、区長会やPTAなどの団体の代表 12 人、公募委員 6 人で活動しています。

『避難所運営になぜ、男女双方の視点が必要か?』の朗読劇の二コマ



デートDV防止紙芝居『これって愛? 気づこう! デートDV』の二コマ

ほかにもこのような活動をしています



市では、平成 30 年 3 月に『第 4 次伊万里市男女協働参画基本計画』を策定し、男女間のあらゆる暴力の根絶に取り組んでいます。毎年 11 月 12 日～ 25 日は、内閣府が定めた『女性に対する暴力をなくす運動』期間です。そこで、令和 2 年度の活動のうち、2 つを紹介します。

DV・デートDV防止街頭啓発キャンペーン

11 月 22 日に、いまりプラザの委員と伊万里農林高校・伊万里実業高校農林キャンパスの生徒が、マックスバリュ伊万里駅前店で『DV・デートDV防止街頭啓発キャンペーン』を行いました。



啓発チラシや高校生の手作りクッキーなどを買い物客に配る生徒（中央）



←梅クッキー

パープルライトアップ・イルミネーション



伊万里ケーブルテレビジョンのライトアップ

運動のシンボルであるパープル（紫色）リボンにちなみ、伊万里ケーブルテレビジョン株式会社（立花町）の協力を得て建物を紫色にライトアップしました。また、有限会社川原プリント社（大川内町）では、パープルイルミネーションを実施しました。